

地域おこしのプロフェッショナル 仕事の流儀

vol.4 帯広市 今 雅昭さん



~PROFILE~

帯広市 今 雅昭さん

出身：北海道釧路市

前職：コーヒーチェーン店勤務

趣味：サウナ、アウトドアサウナ、温泉

1 地域おこし協力隊になったきっかけは？

子供のころから、様々な温泉やサウナに入っていました。銭湯や温泉宿の温泉から、野湯といわれる山奥のワイルドな温泉なども入り、冒険のようで楽しかった思い出があります。社会人になり仕事がうまくいかない時や落ち込んだ時、温泉に入ると前向きな気持ちになり、心の支えになっていました。

地域おこし協力隊の制度を活用して温泉の良さを伝えていく仕事をしたいと考えていたところ、帯広で観光資源の開発という名目で自分がテーマを決めることができる募集がありました。

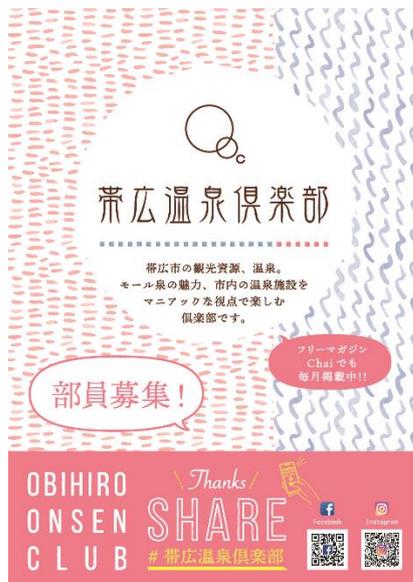
帯広はいわゆる温泉街ではないですが、良質なモール温泉に日常的に入浴できる環境があり、温泉文化が生活に根付いています。今までにない温泉地というポジションでPRできると感じたことと、どうせやるなら既に有名な温泉街をPRするより、誰もやったことのないことをやりたいと考えました。

銭湯は一般的に観光資源ではないですが、銭湯でも温泉に入浴できるのは地域の文化であり、その文化を体験できる体験型観光になりうると考えました。「温泉＝温泉旅行」というイメージではなく「温泉＝地域の文化」を広めたいと思っています。



▲サウナ、水風呂、モール温泉を個室で楽しめるローマの泉にて。

2 日々の活動内容や活動を通じて感じていることを教えてください。



▲帯広温泉倶楽部では、帯広市内の温泉施設の最新情報や魅力を SNS で発信している。

帯広の温泉施設の魅力を PR する活動をおこなっており、SNS による帯広の温泉施設の魅力発信や、フリーマガジン Chai で帯広市内の温泉施設を毎月 1 施設紹介しています。また、コロナ禍だからこそ市内の温泉の魅力に気付くきっかけになってほしいと、湯めぐりスタンプラリーを企画、運営しています。(3月14日まで実施しています)。

他にも、全国的に有名な温泉家の北出恭子さんを招聘して、実際に入浴していただき、帯広温泉郷(帯広市内の温泉施設の総称)の魅力をトークショーや HP などを通じて発信してもらいました。

また、私的な活動ですが、大型タオルで高温の蒸気をおおぐサービスを行う熱波師としての活動なども行っています。

帯広の銭湯では当たりまえのようにモール温泉がかけ流されており、温泉施設の上階が賃貸マンションの施設で入居者は温泉に入り放題になっているなど、予想以上に温泉が生活に根付いているまちだと改めて感じています。

また、サウナについても非常に魅力的な地域だと感じています。自身もサウナの入り方(サウナ 6 分、水風呂 1 分、休憩 6 分を 1 セットとして 3 セット)を教えて頂き、サウナに入るようになりました。その際に水風呂にも入るようになりましたが、そこで帯広の水質の良さに気づきました。帯広の温泉施設の水風呂はそのほとんどが地下水をかけ流しているため、塩素が入っている水道水とは違い肌触りがとても良いです。**水は飲むよりも入る方がその良さに気づくと思います。**

帯広は温泉好きとサウナ好きにとって天国のようなまちです。その反面、当たり前すぎてその価値に気づいていない人も多いと感じます。**地域の方が楽しみ、愛着を持たないと、その魅力は外には伝わらないと思いますので、その魅力に気づくきっかけづくりにより力をいれていきたいです。**



▲北海道ホテルにて、フィンランド式サウナを満喫する。